# なんやう

松山南高校
図書委員会

11月号
2016

## ○文化祭活動報告

今年は「MINAMI IN WONDERLAND」をテーマに、委員みんなで企画を考え、準備をしました。

今年の企画は、次のとおりです。

・朗読＆英語絵本の読み聞かせ
・オススメ本の紹介
・3Dアート
・図書館クイズ
・古本市
・図書館紹介・図書委員会活動紹介
・学年別貸出ランキング
・館内装飾

オススメ本紹介には、先生方や三年生図書委員のみなさんも協力してくださり、様々な本の世界を知ることができました。古本市にも大勢のみなさんに、ご協力いただきました。収益金は、クラス文庫の本の購入に充てさせていただきます。

皆さんのご協力に、御礼申し上げます。

## ☆二年生図書委員の感想☆

僕は館内装飾を担当しました。毎日、放課後に、メンバーで、風船や紙を使って様々なものを制作しました。普段、このようなことをしないので、とても貴重な経験になりました。前期図書委員にとっては、文化祭が最後の行事だったので、図書館の魅力や読書の楽しさを理解してもらうためだと思うと、長時間の準備も苦になりませんでした。展示準備が整った図書館を見た時、仲間と一つのものを作り上げる喜びや達成感を感じました。文化祭当日に、見に来てくれた人たちが、笑顔で帰る様子を見て、とても嬉しく思いました。図書館に来てくださったみなさん、本当にありがとうございました。

## ○脳の発達と読書の関わり

MRIの進歩で、脳の発達と読書の関係についての研究が、進んでいます。

ベネッセ教育情報サイト掲載の、茂木健一郎さん（脳科学者）の説明を、御紹介します。

### ～「脳」と「読書」～

脳にとって、読書は、総合的かつ抽象的な刺激になります。視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚という五感の記憶が総合されて、それが言葉になるので、言葉をとおして世界を知る、整理するというのは、脳のいちばん高度な働きです。

読書は、言葉をとおして想像力をはぐくんだり、遠い世界に思いを馳せたりするので、抽象的な思考能力を高めるには、非常に良い活動です。

本は、繰り返し読むたびに、自分の中に何かを育ててくれる、大切な存在です。

### ～「読書」と「地頭」～

脳科学の観点から言うと、本を読んで何かに感動したり、興味を持ったりして、その後、読書体験を重ねて、その感動や興味がさらに深まることを繰り返すと、読書に関係する回路が強化されます。その結果、論理的思考力やコミュニケーション能力が高い「地頭」の強い人になります。

### ～読書の幅を広げよう～

例え話ですが、本は読んだ分だけ積み上がって、その積み上がった本の高さから世界を見ることができます。10冊読んだ人は10冊の高さから、100冊の本を読んだ人は、100冊の高さから遠くを見ることができる。分野的にバランスを取り、「足元」を固めましょう。

### ～レベルアップにもチャレンジ！～

無理そうに思う本にも、チャレンジしてみましょう。読み終えて達成感を味わった時にドーパミンが出て、脳の回路が強化されます。

### ～インプット・アウトプット！～

脳の成長にはインプット・アウトプットの両方が大事です。本を読んで心を動かされるのが「感覚性の学習」、思っていることを話したり書いたりするのが「運動性の学習」です。両方のバランスが取れた状態で発達するのが望ましいのですが、運動性の学習は遅れがちです。言葉は、普段の生活の中で話したり書いたりするものなので、運動性と感覚性のバランスは、取りやすいものになります。

### ～生涯にわたる「読書の力」～

読書は子ども時代だけの問題ではありません。人間関係において、相手の立場や状況を考えて、その場で最適なものをアウトプットしていける。しかも、自分らしさをそこに出していける能力は、とても大事です。そのためには、読書で「語い」や、「言語感覚」を培っておく必要があります。

また、どういう文章を書けるかで、その人の伸び方が違ってきます。企画書を書くにしても、プレゼンをするにしても、説得力がないと、成功は、おぼつきません。

## 今月の言葉

いまの一瞬の楽しみよりも、未来の楽しみのためにがんばる。

齋藤　孝

『東大生が教える集中術』

## 今月の言葉・選者より

受験生のみなさんは、今は勉強で苦しい毎日と思いますが、諦めず、楽しい大学生活を想像して頑張ってください。

## ≪今月のオススメ本≫
## ～今、話題の一冊～

★『校閲ガール』　宮本あや子著

憧れのファッション雑誌の編集者を夢見て出版社に就職した河野悦子。しかし「名前がそれっぽい」という理由で校閲部に・・。悦子が担当する原稿や周囲では、トラブルが巻き起こり・・?!読んでスッキリ、元気になれる一冊です。

★『何様』　朝井リョウ著

映画化された『何者』のアナザー・ストーリー6編が収録されています。登場人物たちが織り成す「就活」をめぐるドラマ。それは、就活を越え、人生の複雑さや心地よい揺らぎを感じさせます。読みごたえのある一冊です。

★『僕が愛したすべての君へ』
乙野　四方字著

この世界と少しだけ違う平行世界で日常的に揺れ動いていることが実証された時代。クラスメイトの女の子、和音は、85番目の世界から移動してきたと、告げる。「平行世界」という設定が上手く物語に組み入れられ、説明も丁寧なので、分かりやすく、心に残る一冊です。

★『なぜ蚊は人を襲うのか』
嘉糠　洋陸著

皆さんは、蚊に、どんな印象を持っていますか。良い印象は持たないことでしょう。しかし、蚊も生き物です。見つけたら、すぐに排除するのではなく、その生態にも関心を持ってみてください。

★『女子部活食』　海老　久美子著

スポーツの秋、食欲の秋。運動部の女子の皆さん、体作りに気を付けていますか。大会を控えている人たちも、多いと思います。体の外側から鍛えることに加えて、内側からも鍛えてみませんか。きちんとした栄養のある食事を心がけ、日々の部活動を、頑張りましょう。

**編集後記**

いよいよ、読書の秋が到来しました。皆さんは、楽しく読書をしていますか？十月二十七日から十一月九日まで二週間は、秋の読書週間です。朝の読書や通学の時など、空いた時間を利用して、様々なジャンルの本にふれて、知識や、人とのコミュニケーションで大切になる想像力を高めていきましょう。

**（担当　二〇一・二〇二・二〇三）**

## 今月の新着図書

『頭が突然鋭くなるクイズ』　知的生活追跡班
『いい言葉は、いい人生をつくる』　斉藤茂太
『台湾を知るための60章』　赤松美和子
『話したくなる世界の選挙』　コンデックス情報研究所
『家族で学ぶ地震防災はじめの一歩』　大木聖子
『日本の年中行事と室礼』　松田紀子
『日本人が海外で最高の仕事をする方法』　糸木公廣
『勉強の技術　すべての努力を成果に変える科学的学習法の極意』　ＳＢクリエイティブ
『面接の質問』　杉村太郎
『黄金比』　オルセン・スコット
『科学の知識と英語を身につける』　臼井俊雄
『いのちを〝つくって〟もいいですか』　島薗雄
『京都大学人気講義サイエンスの発想法』　上杉志成
『鉱物ハンティングガイド』　松原聰
『理系の話大全』　鈴木志保子
『基礎から学ぶ！スポーツ栄養学』　土木学会関西支部
『図解・橋の科学』　nozomi
『もっとつくおき』　岡本啓子
『手編みのかんたんこもの82』　児玉小枝
『赤ちゃんネコのすくいかた　小さないのちを守るミルクボランティア』　阿野幸一
『英文レターの書き方マナー』　茂木健一郎
『最強英語脳を作る』　アレイン・パトリック
『リーダーとして話すための英語パワーフレーズ3000』　堀川りよう
『ビブリオバトルハンドブック』　ビブリオバトル普及委員会
『耳コピ力アップ術』　永野光浩
『「超」アニメ声優』　飯村孝夫
『ことばが届く歌い手になる』　山田敦子
『子どもを夢中にさせる魔法の朗読法』　イグレシアス・カール
『「感情」から書く脚本術』　赤坂英一
『すごい！広島カープ』　花井等
『論文の書き方マニュアル』　綾辻行人
『Ａｎｏｔｈｅｒ　エピソードＳ』　キャロル
『子ども部屋のアリス』　有川浩
『アンマーとぼくら』　三浦しをん
『神去なあなあ夜話』　夢枕獏
『陰陽師　玉兎ノ巻』　田丸雅智
『家族スクランブル』　他26冊